第４章　プロジェクトの妥当性の検討

４－１　プロジェクトの効果

（１）期待される直接効果

各対象施設とも、産婦人科の診断に必要な検査機器が調達され、検査項目・件数が増加するなど診断能力が向上するとともに、手術・分娩室及び病棟に必要な医療機材の調達により治療能力が改善され、産婦人科医療のサービスが向上する。

（２）期待される間接効果

「キ」国及び対象３州の産婦人科医療におけるトップリファレル病院として診断・治療能力が改善・向上し、下位病院と診断能力の差が明確になり、国全体のリファレル体制の整備に貢献することになる。

（３）成果指標の策定

本プロジェクトの評価に際しては、上記（1）（2）の成果指標として、対象地域における年間超音波診断数・心電図検査数・X 線検査数・乳房 X 線検査数・手術件数及びリファレル入院患者率の推移を用いることとする。（詳細については別添資料の事前評価表を参照。）

４－２　課題・提言

なお、本プロジェクト実施に当たっては、「キ」国側負担工事が適切な時期に実施されることが重要である。特にヒューマン・リプロダクションセンターに於いては産科部門の増設及び X 線検査室設置関連改修工事を、他の施設においては更新対象の既存機材の撤収及び必要な改修工事を医療機材搬入前に終了している必要がある。本プロジェクトにより調達された機材がより円滑かつ効果的に運営されるために、さらに以下の点を改善・整備されることが望ましい。

（１）本協力対象事業によって調達された機材をより良好な状態で継続使用するために、必要な試薬・消耗品・スペアパーツなどを購入する予算を確保する。

（２）本協力対象事業によって調達した機材をより良好な状態で継続使用するために、機材維持管理体制を整備する。

（３）本協力対象事業によって調達した機材を診療上より適切且つ有効に使用するために、継続的且つ定期的な研修体制（予算処置も含む）を整備する。

（４）医療機材納入に際して、保守点検マニュアル・操作マニュアル・回路図等の提供に加え、機材調達業者による技術指導も十分行われる。よって医療機材の保守管理を効果的に実施するためにも、これらマニュアル等を有効に活用する必要がある。また、資機材の納入日時、使用頻度、修理履歴等を把握し、機材ごとの台帳（記録帳）を整備し、更に、スペアパーツ購入計画及び機材更新計画を作成し、それに基づいた中長期的予算計画を策定する。

（５）プロジェクトによる機材調達後、毎年その運営状況（ハイリスクの分娩数・帝王切開数・通常分娩数、外来患者・入院患者数、レファレル患者数、超音波診断数、心電図検査数、X線検査数、手術数等）についての年次報告書を作成することが望ましい。この報告書を作成することにより対象施設の運営状況を把握し、運営改善の参考資料として活用することが可能となる。

4－3　プロジェクトの妥当性

（1）裨益対象

本協力対象事業は、国及び特にナリン・イシククル・タラス 3 州の産婦人科第三次医療施設であることから、直接的には「キ」国の妊娠可能年齢女性（約 124.2 万人）及びナリン州（58.8 千人）･イシククル州（104.4 千人）･タラス州（50.1 千人）の妊娠可能年齢女性である。

（2）プロジェクトの目的

ヒューマン・リプロダクションセンターその他 3 州立統合病院の産婦人科診療機能に関する医療機材を整備することにより、母子医療サービス体制の向上を目的とし、国家上位目標である「母子保健・医療の改善」に大きく貢献する。

（3）自立発展性

「キ」国政府は、本プロジェクトの実施に当たり資金及び人材の確保を含め、機材の運営・維持管理を保健省及び各対象施設に委ねている。運営・維持管理に必要な資金は、ヒューマン・リプロダクションセンターに於いては保健省、他の 3 施設については財務省から州政府に割り当てられている保健医療予算から活用出来る。継続的研修に必要な資金及び体制の整備は保健省により国からの予算でまかなわれることが約束されている。さらに、新しい医療費支払制度及び一括決算方式の採用により、対象施設は予算運用についてより自主的且つ自己責任のもとで行うことが出来るようになるとともに、調達機材の運営・維持管理に要する費用は診療行為の対応した強制医療保険基金及び患者の負担金によりまかなわれうることが判明している。

4－4　結論

本プロジェクトは、前述のように多大な効果が期待されると同時に、本プロジェクトが広く住民の BHN の向上に寄与するものであることから、本プロジェクトの一部に対して、我が国の無償資金協力を実施することの妥当性が確認される。さらに、本プロジェクトの運営･維持管理についても、相手国側体制は人員･資金ともに十分で問題ないと考えられる。しかし、上述（4-2 課題･提言）した点が改善･整備されれば、本プロジェクトはより円滑かつ効果的に実施しうると考えられる。